

理科カリキュラムを考える会 2011年夏季シンポジウム

テーマ 東日本大震災が与えた理科教育 に対する課題

巨大地震と大津波、それに続く原発事故の引き起こした「東日本大震災」は、いまだ収束の見通しを立てることが難しい現状です。地震のよりいっそうの解明や新しいエネルギー資源の開発のため、科学は期待されています。しかしその一方では、原発事故を通して、科学に対する不信も引き起こされています。震災以降に見られる日本社会の対応は、「理科教育」という側面から見れば、これまでの教育の成果の反映ともいえるでしょう。

本シンポジウムは、被災地域の学校現場からの報告を受けながら、震災に対応してきた日本人の科学リテラシーの優れた点や問題点を振り返り、さらに理科教育が緊急に対応すべきことや、今後の日本の復興に向けた中期・長期の課題を探っていきます。

日時 2011年 6月19日(日) 13:00 から (受付開始 12:30)

シンポジウム

13:00 ~ 18:00 (受付開始 12:30)

- 「どう創る 危機を乗り越える市民社会」
滝川 洋二 (NPO 法人理科カリキュラムを考える会 理事長/東海大学教育開発研究所)
- 「危機に際し発信する力、受けとめる力」
室山 哲也 (NHK 解説委員)
- 「被災地の学校の現状と課題」
佐々木 清 (福島県郡山市立明健中学校)
- 議論の時間
「被災地とのインタラクティブをどう創りあげるか」
- ポスターセッション および 企業展示
- 「何のために 21 世紀のすべての人々に科学リテラシーが必要か—予防原則とシビリアンコントロールの意味について」
川勝 博 (名城大学総合数理教育センター長)
- 「21 世紀を生き抜く社会の学カ—イギリスのカリキュラムを例に」
笠 潤平 (香川大学教育学部)
- 議論の時間「災害を乗り越える科学リテラシー」

理科カリキュラムを考える会2011年度総会

当日の午前中には、NPO 法人理科カリキュラムを考える会の 2011 年度総会が開かれます。時間予定 11:00 ~ 12:00。

申し込み・問い合わせ

次の内容を、電子メールまたは郵送にてお送りください。

【お名前】【ご所属】【ご連絡先 E メールアドレス】【本会会員 / 非会員】

電子メール: sympo@rikakari.jp 理科カリキュラムを考える会事務局

郵送: 〒195-0063 町田市野津田町 2094-8 小川慎二郎

お申し込みされなくても参加できますが、資料準備のため、是非事前にお申し込み下さい。

ウェブサイト <http://www.rikakari.jp/sympo/>

主催: NPO 法人 理科カリキュラムを考える会

協賛: 株式会社ナリカ / 実教出版株式会社 / 株式会社朝日ネット /
株式会社アイカム / 株式会社島津理化 / 株式会社第一学習社

ポスターセッション発表者

「福島の放射線」 船田 優 (千葉県立船橋橋典高等学校)
(現在募集中)

出展企業

株式会社ナリカ 実教出版株式会社 株式会社朝日ネット
株式会社アイカム 株式会社島津理化

参加費

事前申し込み

一般……1,000 円 会員……500 円 学生……500 円

当日申し込み

一般……1,200 円 会員……500 円 学生……500 円

※参加費は当日会場にて

会場

東洋大学(白山第二キャンパス) B 棟 3 階

都営地下鉄三田線「白山」駅 A1 出口から徒歩 6 分

東京メトロ南北線「本駒込」駅 1 番出口から徒歩 10 分



地図の出典: 東洋大学 HP